



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月30日

上場会社名 株式会社カーメイト 上場取引所 東
 コード番号 7297 URL <https://www.carmate.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 徳田 勝
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経理部長（氏名） 矢嶋 純一（TEL）03-5926-1211
 半期報告書提出予定日 2026年11月13日 配当支払開始予定日 2026年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	6,384	3.0	△119	—	△50	—	△31	—
2026年3月期中間期	6,195	△13.3	△207	—	△177	—	△253	—

（注）包括利益 2027年3月期中間期 352百万円（—％） 2026年3月期中間期 △243百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	△4.43	—
2026年3月期中間期	△35.99	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	20,361	15,449	75.9
2026年3月期	20,210	15,203	75.2

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 15,449百万円 2026年3月期 15,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2027年3月期	—	18.00			
2027年3月期（予想）			—	18.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

1. 配当予想の修正については本日（2026年10月30日）公表した「剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正（記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 2027年3月期の配当は、第2四半期末で普通配当15円・記念配当3円、期末で普通配当15円・記念配当3円です。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,380	5.6	833	38.0	886	35.7	569	102.7	80.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料 P. 7 「(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	7,928,885株	2026年3月期	7,928,885株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	874,937株	2026年3月期	874,887株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	7,053,978株	2026年3月期中間期	7,053,998株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P. 2 「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に経済活動も緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら物価上昇による消費者の節約志向も継続し、また、不安定な国際情勢、資源・エネルギー価格や原材料価格の高止まりなど、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況で推移しました。このような状況下にあって当社グループは、引き続きトータルコストの削減を推進する一方、新製品・新サービスの市場導入強化、安全・安心なモノづくり、廃棄ゼロなどを目標としたサステナビリティの強化、海外市場への積極的な展開による輸出の拡大などに取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、6,384百万円（前年同期比3.0%増）となりました。損益面につきましては、販売費及び一般管理費は増加しましたが、原価率の改善、増収による売上総利益の増加により営業損失119百万円（前年同期は営業損失207百万円）となり、経常損失は50百万円（前年同期は経常損失177百万円）となりました。親会社株主に帰属する中間純損失は31百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失253百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔車関連事業〕

車関連事業につきましては、売上高は5,797百万円（前年同期比1.3%増）となりました。損益面につきましては、販売費及び一般管理費は増加しましたが、原価率の改善により、営業利益は358百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

〔アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業〕

アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業につきましては、スノーボード関連用品の出荷が前年より早まり増収となり、売上高は586百万円（前年同期比23.6%増）となりました。損益面につきましては、販売費及び一般管理費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加並びに原価率の改善により、営業利益21百万円（前年同期比6,414.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ103百万円減少し、16,900百万円となりました。これは主に、売掛金、製品、原材料及び貯蔵品は増加しましたが、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ254百万円増加し、3,461百万円となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価により増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ151百万円増加し、20,361百万円となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、2,365百万円となりました。これは主に、賞与引当金は減少しましたが、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ148百万円減少し、2,545百万円となりました。これは主に、社債が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ95百万円減少し、4,911百万円となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ246百万円増加し、15,449百万円となりました。これは主に、利益剰余金は減少しましたが、為替換算調整勘定、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は75.9%（前連結会計年度末は75.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月15日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,139	10,086
受取手形	0	0
電子記録債権	195	217
売掛金	1,460	1,797
製品	2,697	2,964
仕掛品	618	657
原材料及び貯蔵品	627	793
その他	267	384
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	17,003	16,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	58	62
機械装置及び運搬具 (純額)	39	60
工具、器具及び備品 (純額)	36	87
土地	265	265
使用権資産 (純額)	0	0
有形固定資産合計	399	475
無形固定資産	96	120
投資その他の資産		
投資有価証券	2,314	2,498
その他	394	366
投資その他の資産合計	2,709	2,864
固定資産合計	3,206	3,461
資産合計	20,210	20,361

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2026年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	718	898
1年内返済予定の長期借入金	30	30
1年内償還予定の社債	440	405
未払法人税等	50	26
賞与引当金	257	204
その他	816	801
流動負債合計	2,312	2,365
固定負債		
社債	710	625
長期借入金	120	105
役員退職慰労引当金	766	742
退職給付に係る負債	778	755
その他	319	318
固定負債合計	2,694	2,545
負債合計	5,006	4,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,637	1,637
資本剰余金	2,422	2,422
利益剰余金	9,151	9,014
自己株式	△764	△764
株主資本合計	12,447	12,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,260	1,386
為替換算調整勘定	1,495	1,753
その他の包括利益累計額合計	2,755	3,139
純資産合計	15,203	15,449
負債純資産合計	20,210	20,361

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	6,195	6,384
売上原価	3,741	3,737
売上総利益	2,453	2,646
販売費及び一般管理費	2,661	2,765
営業損失 (△)	△207	△119
営業外収益		
受取利息	19	17
受取配当金	46	48
為替差益	-	20
その他	18	10
営業外収益合計	85	96
営業外費用		
支払利息	6	7
為替差損	20	-
支払手数料	20	19
その他	8	0
営業外費用合計	55	27
経常損失 (△)	△177	△50
特別利益		
固定資産売却益	2	4
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産除却損	6	0
固定資産売却損	0	-
減損損失	154	-
特別損失合計	162	0
税金等調整前中間純損失 (△)	△337	△45
法人税、住民税及び事業税	3	9
法人税等調整額	△86	△24
法人税等合計	△83	△14
中間純損失 (△)	△253	△31
親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△253	△31

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純損失 (△)	△253	△31
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273	126
為替換算調整勘定	△263	257
その他の包括利益合計	9	383
中間包括利益	△243	352
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△243	352
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	車関連事業	アウトドア・ レジャー・スポーツ 関連事業	
売上高			
一時点で移転される財	5,711	474	6,186
一定の期間にわたり移転 される財及びサービス	9	—	9
顧客との契約から生じる収益	5,721	474	6,195
外部顧客への売上高	5,721	474	6,195
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	5,721	474	6,195
セグメント利益	331	0	331

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	331
全社費用(注)	△539
中間連結損益計算書の営業利益	△207

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	車関連事業	アウトドア・ レジャー・スポーツ 関連事業	計		
減損損失	113	20	134	20	154

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

II 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	車関連事業	アウトドア・ レジャー・スポーツ 関連事業	
売上高			
一時点で移転される財	5,787	586	6,373
一定の期間にわたり移転 される財及びサービス	10	—	10
顧客との契約から生じる収益	5,797	586	6,384
外部顧客への売上高	5,797	586	6,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	5,797	586	6,384
セグメント利益	358	21	379

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	379
全社費用(注)	△499
中間連結損益計算書の営業利益	△119

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。